

Circle SaaS

vs

MakeShop

Circle SaaS と MakeShop の比較

国産ASP型EC / アパレル循環型サブスクの運用基盤として比較

基準時点：2026年6月 作成日：2026年6月25日 circle-saas.jp

結論

MakeShopは販売手数料0%と機能網羅性が強みの国産ASPで、通常ECと定期購入の運用に向きます。Circleはレンタル個体管理・返却・再販・診断といったアパレル循環に特化します。一般的な物販ならMakeShop、返却を前提とした循環型サブスクならCircleが向きます。

料金の実態

プレミアム 初期¥11,000 / 月額¥13,750～（税込・別途カード決済¥1,100/月）。販売手数料0%。レンタル運用は個別開発。

機能・コスト比較

機能・運用

	Circle SaaS	MakeShop
アパレルサブスク特化の標準機能 レンタル前提の設計	✓	×
会員診断エンジン 7ステップ診断→プラン提案	✓	×
定額レンタル運用 出荷・返却サイクル管理	✓	×
返却品の再販（リコマース）	✓	×
レンタル→購入の転換	✓	×
レンタル在庫・個体管理	✓	×
店舗受け渡し・OMO 同一在庫で店舗連携	✓	△
4つの収益モデルを一体運用 月額・購入・転換・再販	✓	×
自社ブランド表示（ホワイトラベル）	✓	✓
日本語サポート・国内決済	✓	✓

立ち上げ・コスト

	Circle SaaS	MakeShop
初期費用	¥0	¥11,000
月額（基本料金） 決済手数料は別	¥34,800～	¥13,750～
立ち上げ期間	最短14日	通常ECは短期
レンタル運用の追加開発	不要	個別開発

どちらが向くか

Circle が向くケース

- ✓ レンタル個体（1点ごと）の状態・回転・返却を管理したい
- ✓ 返却品を在庫に戻して再販し、収益化したい
- ✓ 会員診断を起点にプランを提案したい
- ✓ 店舗受け渡しとオンラインを同一在庫で運用したい

MakeShop が向くケース

- 通常物販や一般的な定期購入が事業の中心
- 販売手数料0%・低月額で通常ECを運用したい
- レンタル・循環の要素が当面ない

よくある質問

Q. MakeShopでレンタルサブスクは運用できますか？

MakeShopは通常物販と定期購入が中心で、レンタルの個体管理・返却・再販は標準機能ではありません。これらをアパレル前提で一体運用したい場合はCircleが適しています。

Q. 料金はどちらが安いですか？

通常ECの基本料金はMakeShop（月額¥13,750～、販売手数料0%）が低価格です。一方でレンタル循環を実現するには個別開発が必要になります。Circleは月額¥34,800～にレンタル・返却・再販・診断が標準で含まれるため、循環運用を前提にすると総額の比較が変わります。

Q. Circleは通常の物販もできますか？

Circleは通常購入にも対応しますが、強みは「定額レンタル+返却+再販+購入転換」の循環運用です。汎用的な物販機能の網羅性ではASP型ECに分があります。

14日間の無料トライアルで、循環運用をそのまま試す

初期費用¥0・カード登録不要。収益シミュレーションと個別相談も承ります。

circle-saas.jp で相談する

出典・参考

makeshop 料金プラン

<https://www.makeshop.jp/main/plan/>

makeshop 料金まとめ (Web幹事)

<https://web-kanji.com/posts/makeshop-cost>

掲載の料金・機能は各社の公開情報（2026年6月時点）をもとにした当社の比較です。各社は仕様・料金を改定する場合があります。最新の正確な情報は各社の公式サイトをご確認ください。料金は特記なき限り税込・基本料金で、決済手数料やオプション費用は含みません。

Circle SaaS / 本資料は社内での比較・検討にそのままご利用いただけます。最新の料金・機能は各社公式サイトをご確認ください。